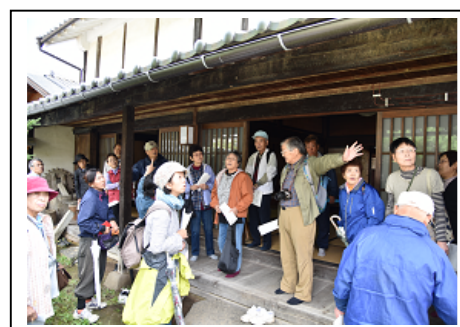


### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「おみごと！」な 麻績のお宝再発見事業
事業主体 (連絡先)	麻績村 教育委員会 (0263) 67-4858
事業区分	教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,391,669 円 (うち支援金 : 1,043,000 円)

#### 事業内容

「文化財・歴史遺産・民族風俗など、ハードルの高そうなものについて、「わかりやすさ」「親しみやすさ」を追求し、少しでも興味を持てるようにすること、また、「今残すことを始めないと何も残らなくなる」という思いを事業の目的として、麻績の歴史を「知的財産」として残るようにアーカイブ化を進めるとともに、GISシステムを活用し、紙媒体で管理・保管されていた文化財に関する情報のデータ化等を行ったほか、フリーペーパーによる文化遺産の情報発信も行った。そのほか、地域住民の団体と共催で歴史や民族文化を学ぶ企画を行った。



【麻績の語りべ】

#### 【目標・ねらい】

- ①歴史や文化財への意識の向上
- ②麻績に残る「お宝」の掘り起し
- ③映像等によるアーカイブ化

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・「麻績の歴史を学ぶ会」の方々との共催による事業を全5回計画していたが、全7回と計画よりも多く実施することができた。
- ・国の登録有形文化財である「芦澤の石積堰堤」をフリーペーパーとして配布することで、県外の方や文化財に興味を示していなかった方へのPRにつながった。
- ・文化財GISシステムの構築により、紙ベースでの管理から気軽に扱うことのできるデータでの管理によって、今まで発信できていなかった文化財に関わる情報を多くの方に知ってもらうことにつながった。

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

住民の意識の向上等には一定の効果があり、住民との協働による今後の継続的な取組につながった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・今回の事業で整備することができたシステムや住民との協働による活動をさらに進めていき、継続的な活動となるような体制を構築し、またシステムの幅広い活用に向けて新たな展開も進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある